

令和5年7月14日

お知らせ

学校名	岡山県立矢掛高等学校
担当者	教 頭 田中宏和 指導教諭 濱田好宏
電話番号	0866-82-0045

CLS プログラム学生との交流会を行います。

～本校としては初の対面での交流会です。～

岡山県立矢掛高等学校では、CLS プログラムのホストとなっている岡山大学を通じて交流会を行っています。本校は令和2年度からオンラインで交流を続けてきましたが、今年度は初めて対面での交流が実現しました。

本校生徒の頑張りを広く周知したいので、ぜひ取材にお越しください！！

記

- 1 日 時：令和5年7月22日（土）09時00分～18時00分
- 2 場 所：矢掛町商店街
岡山県立矢掛高等学校（小田郡矢掛町矢掛 1776-2）
大通寺（小田郡矢掛町小林 1815）
- 3 参加者：本校生徒 20 名程度、CLS プログラム学生 26 名
- 4 内 容：09:00～11:00 矢掛町商店街等散策での矢掛高校生アテンド
12:45～13:15 備中神楽見学（矢掛高校内）
13:15～14:30 矢掛高校生へ SDGs の視点からのインタビュー（矢掛高校内）
14:30～18:00 「大通寺座禅」と「はなしの里ピザ&かき氷」（大通寺）
- 5 その他：取材にお越しいただける場合は、事前にお電話をいただくと助かります。

CLS プログラムとは…

Critical Language Scholarship プログラムの略称。以下、岡山大学のホームページから引用。

米務省「重要言語奨学金（CLS）プログラム」は、国家安全保障や経済発展の観点から重要な役割を果たす、ロシア語や中国語など世界 15 言語の人材養成を狙いに、米務省が実施しています。国内では 2010 年に受け入れがスタートし、同プログラムは国際教育・交流を専門とする米非営利団体 American Councils for International Education（アメリカン・カウンシルズ）によって運営されています。

本学は、CLS プログラムの派遣先に国立大学として初めて採択され、夏季の 6 月から 8 月における 8 週間、米務省により選抜された全米トップクラスの大学生・大学院生 26 人が日本語と日本文化に関する集中講義を受ける一方、本学が推進する SDGs（持続可能な開発目標）をテーマに、岡山県内の自治体・企業などの協力を得て実施されるさまざまな課外活動にも参加します。

プログラムで実施される異文化交流を通じて、両国間の学生がより視野や見識を広げ、多角的に物事をとらえ思考する力を養うことが出来、同時に、CLS プログラムに関わりを持つ、本学教職員、さらには県内の企業・団体の方々にとっても、CLS 学生、そして米国（国務省、大学・研究機関等）との将来にわたる関係構築の機会、SDGs という相互接続的な目標に取り組む上でも重要で、北米地域におけるさまざまな関連の学際的・分野融合的な研究・協働の機会創出に寄与するものと期待されています。